



秋田県視察研修報告会

わかった！できた！秋田！

～自己肯定感を高める にかほ のからくりをさぐる～

平成30年1月5日(金) 市役所第一会議室

秋田県にかほ市の金浦小学校・象潟中学校に5日間滞在して実習した山科善規教諭・塩月秋洋教諭と、2日間にかけ、秋田県で視察研修をした吉松知子教諭・谷本愛依教諭が、秋田県の実情から学んできた内容を、市内小中学校からの参加者約40人を前に報告しました。視察研修のテーマを、「わかった！できた！秋田！～自己肯定感を高める にかほ

のからくりをさぐる～」に設定した4人の先生が、それぞれの学校で感じ取ったこと、学んできたことを詳しく発表しました。
(以下、その主な内容です)

【金浦小学校】

わかる・できる・伝える喜びを実感できる授業をめざす

①「わざ」の習得・活用

②伝えることに関する指導を徹底する

【象潟中学校】

①家庭学習の定着(毎日2ページずつの一人勉強など)

②よりよい授業を作っていこうとする教師の意識の高さ

【自己肯定感を高める にかほ のからくり】

1. 縦のつながりを大切にする
2. 肯定的評価(子ども同士を含む)を多用する
3. 子どもの実態に即し、意欲を高める「授業力」

【さやまのそちから】

視察を通して、狭山の良さも改めて実感できました。それは、危機管理体制や新たな取組みに向けての実践などです。そんな『さやまのそちから』を“どしどし発揮していきましょう”とまとめて、視察研修報告を終了しました。

質疑応答では、熱心にメモを取りながら聞き入っていた参加者から、「本市にすぐに取り入れられることは？」「家庭学習の定着にはどんな取組みが？」など多くの質問がでていました。

最後に3つの中学校区ごとに集まって、各校の自己肯定感を高める取組みについて交流を行いました。今日は、『あきたのそちから』とともに『さやまのそちから』を共有することができて、新学期に向け参加者の実践意欲が大いに高まった一日になりました。



学校まるごとパック事業

南中学校 まるごと学校公開

平成30年1月19日(金)

1月19日(木)に南中学校で『まるごとパック学校公開』が行われ、保幼小中学校園の教職員・保護者や地域の方々が多数参加しました。当日は福岡県北九州市から29名、滋賀県湖南市から6名の先生方も来校されて、南中学校の取組みを熱心に視察されていました。



2年数学



3年技術

5時間目は全クラス授業公開で、国語・数学・英語・理科・社会・技術・家庭・音楽・美術等様々な教科を公開しました。

今年度「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践研究に取り組んでいる南中ですが、今回は子どもたちの『つまづき』を大切にした授業づくりをテーマに公開しました。意欲的に学ぶ姿、学び合い伝え合う子どもたちの笑顔から、教師の熱意が伝わってくる授業でした。

その後の全体会では、南中校区キャリア教育で大切にしてきた「チャレンジ・決める・わかる・えがく・つながる」という5つの柱、校区人権教育で大切にしてきた

「No Child Alone どの子も一人にさせない」について、校区8学校園から実践報告を行いました。報告の後、参加者はグループになって学んだことについて5分間話し合い、その内容について全体で発表しました。市内だけでなく、北九州市や湖南市の先生からの意見や感想もありとても充実した全体会になりました。



全体会

最後は分科会です。「学びのつながり」で3つ、「子どもの成長のつながり」で3つの分科会に分かれて話し合いました。「学びのつながり」数学・英語・理科の分科会は小中学校の教科担当者が、「子どもの成長のつながり」中1・中2・中3の分科会は保幼小中学校園でその学年の子どもを担当した先生が集まり、それぞれテーマを決めて話し合いました。中学校区で学びや成長のつながりを意識した取組みが、より一層進められていくことが確信できる有意義な話し合いが、どの分科会でも行われました。



中学3年生の分科会

大阪狭山市管理職研修

～個別の教育支援計画・個別の指導計画～

12月25日(金)に市役所で『大阪狭山市管理職研修』が開かれ、市内小中学校から14名の管理職が参加しました。講師は梅花女子大学の伊丹昌一先生で、「個別の教育支援計画・個別の指導計画」について講演していただきました。

特別支援教育とは、特別な支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

伊丹先生からは、学校の管理職に求められることとして、①保護者・地域住民との連携・協力を深めながら児童生徒の成長を実現 ②学校全体での組織的な取り組み ③適切な人材配置と専門性の育成 ④地域・保護者への説明責任 ⑤関係機関との連携 の5点についてお話がありました。そして、個別の教育支援計画と個別の指導計画について学校では、2つの計画の位置づけや作成の手続きなどを整理し、共通理解を図ることが必要であり、実施状況を適宜評価し改善を図っていくことが不可欠なこと等、くわしく説明していただき、大変有意義な管理職研修になりました。



生徒会サミット

平成30年1月12日(金) 大阪狭山市役所

小中学校の生徒会・児童会の代表が集まり、平成29年度第2回『大阪狭山市生徒会サミット』を開催しました。前半は中学校区ごとに自己紹介をした後、第三中学校が参加した「大阪府中学校生徒会サミット」、狭山中学校が参加した「OSA KA スマサミット2017」について、学んだこと、感じたことを自信をもって報告してくれました。



後半は中学校区ごとに「いじめゼロ」をめざす取り組みの検討をしました。どのテーブルでも中学生が中心になり、スムーズな進行を心がけてくれたおかげで、素晴らしく充実した意見交流会になり、今後中学校区で取り組んでいくことを決定しました。最後に各中学校区ごとに決定した内容について、参加者全員が前に出て発表しました。この場に集まった生徒会・児童会が中心となって、各校で「いじめゼロ」をめざす取り組みを実践していくことを期待しています。

後半は中学校区ごとに「いじめゼロ」をめざす取り組みの検討をしました。どのテーブルでも中学生が中心になり、スムーズな進行を心がけてくれたおかげで、素晴らしく充実した意見交流会になり、今後中学校区で取り組んでいくことを決定しました。最後に各中学校区ごとに決定した内容について、参加者全員が前に出て発表しました。この場に集まった生徒会・児童会が中心となって、各校で「いじめゼロ」をめざす取り組みを実践していくことを期待しています。



学校まるとパック事業

南第二小学校 まると学校公開

平成30年2月1日(木)

『学校まるとパック事業』は、めざすこども像の実現に向けて一丸となって取り組む教職員の姿と、学ぶ子どもたちの姿を、市内教職員や地域の方々に「まると」公開するものです。今年度最後の南第二小学校は、2月1日(木)に学校公開を実施しました。

当初の予定ではスマイル班清掃やスマイル班遊びを見てもらうことになっていましたが、雨天のため通常の清掃と昼休みの公開になりました。雨天でも、南二小の子どもたちは明るい表情で掃除をがんばり、昼休みは廊下や教室で工夫して楽しく遊んでいました。



受付



昼休み

5時間目は全クラスの授業公開です。国語・算数・社会・図工・道徳・英語など様々な教科が公開され、どの指導案にも南二小の研究テーマである「伝え合い・わかり合い・高め合おう」との関連が明記されており、ICTも多くの場面で活用されていました。子どもも教師も「つながり」を大切にし、みんなで学習する意義を感じさせる工夫が、どの授業でも見られました。



2年国語



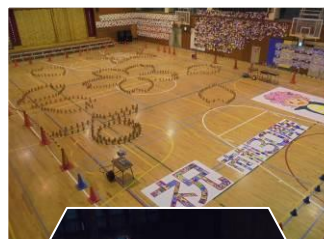
4年算数

公開授業後は「二小の良いところって何ですか？」というテーマで、パネルディスカッション形式の実践報告がありました。パネラーは校内研究・生活指導・健康安全・特別活動の4部会の代表で、子どもたちのアンケート結果・コメンテーターや会場の意見もふまえて、「行事がスゴイ」「仲が良い」「話す力がスゴイ」「高学年がスゴイ」の4点について、南二小の伝統やつながり・課題等をかみ明らかにしていきました。



実践報告会

最後は『キャンドルアート鑑賞会』。市制施行30周年記念事業として南二小と南二幼の子どもたちが、焼きもののキャンドルを作成しました。当日は作品展も実施され、フロアの「キャンドルアート」に灯りがともされると、体育館が幻想的な雰囲気に包まれ、観覧者から「きれい!」という声があがりました。



キャンドルアート